



五加小学校だより

令和3年12月 24日(金)

千曲市立五加小学校

教頭 中村加津子

二学期が終了しました。 よいお年をお迎えください。

登校日数85日の長い2学期が終わりました。どの学年も充実した学校生活を送ることができたように感じます。終業式でも、“1, 2年生の遠足、3年生の社会見学、4年生の和太鼓、5年生の日帰りキャンプ、6年生の中学進学準備・制服採寸など、暑い季節からスタートし、あっという間に今日の最終日を迎えましたね”というお話が校長先生からありました。これから年の瀬となり、新しい年を迎えます。家族団らんでゆっくり過ごしたり、文化や風習を感じたりできるお休みでもあります。家族の一員としての役割を果たしつつ、ゆっくりと休んで、三学期を気持ちよくスタートできるようにしましょう。



2学期終業式 校長先生のお話より

12月24日(金)、2学期終業式では、校長先生に以下のようなノーベル賞の話をして頂きました。

【以下お話しの一部です】

今年のノーベル物理学賞の一人に、日本人の真鍋叔郎(まなべ しゅくろう)さんが受賞しました。二酸化炭素が、地球温暖化に影響するということを、今から50年以上も前に考えつきました。地球温暖化の影響は、今の身の回りにも少しずつできてきていますね。EVの自動車が多く開発されたり、屋根には太陽光発電ができる家がたくさんあったり、石油やガスを使わないオール電化の家もたくさんあったりします。50年も前にこんな未来のことを考えていたことはとても素晴らしいことです。

ノーベル賞をつくったのは、アルフレッド・ノーベルと言って、スウェーデンの科学者です。のちに、ダイナマイトという爆弾を開発し、たくさんの財産を得た人です。ノーベルは、ダイナマイトが、人の役に立つというより、戦争で多く使われ、一瞬にして多くの人が亡くなっていく様子を見たり、「死の商人」なんて世間の人から呼ばれ、亡くなる前は、ひどく悩んでいたらしいそうです。皆さんも、思いもよらず、友だちと仲が悪くなったりしますね。例えば、言い方一つで、印象が随分変わることもあります。「なにやってるの?」(優しい口調で)って言うのと、「なにやってるの?」(強い口調で)ではずいぶん聞いた印象が違いますね。昔から「口は禍のもと」と言いますので、校長先生も

そうですが、皆さんも友だちとずっと仲良くできるようにしてほしいと思います。話がそれてしまいましたが、ノーベルは、死ぬ前に、築いた財産を「人類のために最大の貢献をした人に分けてほしい」という遺言により、ノーベル賞がつけられました。



最初に話した真鍋さんは、インタビューで「好奇心で始めた研究がこんな賞をもらうなんてと思っていませんでした」と話しています。明日からは、冬休みです。皆さんも何か興味あることを見つけ、新しい年への目標を立ててください。また、この冬休みは、年末年始、家族で過ごすことも多いと思いますが、大掃除の手伝いやお正月の遊びなど、家族との時間を大事にしてください。



寒くなり雪も降るようになりました。道路には危険がいっぱいです。交通事故にはくれぐれも気をつけ、自分の目と耳と気配で、事故に遭わないように気をつけましょう。1月7日、皆さん元気一杯登校してください。

保護者懇談会・保護者アンケート(学校評価・非違行為防止)

ご協力ありがとうございました。

12月は、個別懇談会にお越しいただいたり、保護者アンケートにご協力いただいたりして、誠にありがとうございました。懇談で出された課題や保護者アンケートにお書きいただいた内容については、校長以下全職員で解決に向けた取り組みをまいります。今後とも、お気づきの点がございましたらお声を届けていただき、一緒に考えさせていただければと思います。担任はもちろん、窓口として保健室や専科の先生、校長室や職員室でお待ちしておりますので、遠慮なくご相談ください。

